

## 第6学年 社会科 学習指導案

## 本時の主張

本時は、戦時中の人々の暮らしについて、尋常小学校が国民学校に変わり、子どもの学校生活がどうなったのかを調べたり考えたりすることを通して、学校生活の全てが戦争中心になっていったことをとらえていく授業である。戦時中は学校でも戦争に関する教育が行われていたことは多くの子どもが知っているが、実際の学校生活の状況を詳しく知っている子どもはほとんどいない。

そこで本時では、次のような手立てを講じ、戦時中における、国民学校での学校生活の様子を具体的にとらえさせる。

- ①当時の子どもの遊び道具や学校の名称の変化を示す資料を提示し、当時の学校生活に興味をもたせる
- ②国民学校に通う子どもはどんな学校生活を送っていたのか予想させる
- ③子どもがどんな学校生活を送っていたかをまとめ、学校生活も戦争中心になっていったことをとらえさせる

この手立てにより子どもは、戦時中の子どもの学校生活や暮らしの状況を基にして、社会全体で戦争に突

## 1 単元名 「戦争と人々の暮らし」

## 2 単元の目標

- 【関心・意欲・態度】 日本が戦争がアジア・太平洋に広がっていった経緯や、当時の人々の暮らしに関心を持ち、進んで調べたり考えたりしようとする。
- 【社会的な思考・判断・表現】 アジア・太平洋戦争の状況と人々の暮らしの変化を結びつけて考えたり、表現したりすることができる。
- 【観察・資料活用の技能】 アジア・太平洋戦争の状況の変化や人々の暮らしの変化について、資料から読み取ることができる。
- 【知識・理解】 戦争によって、日本国民が大きな被害を受けたことや、他国にも大きな損害を与えたことを理解する。

## 3 単元の指導計画と評価規準

時	学習のねらい(○)と主な活動内容(・)	評価規準
1	○戦争について調べたり考えたりしていこうという意欲をもつことができる。 ・戦争について知っていることやイメージについて話し合う。	戦争が起こった原因・背景などについて調べたり考えたりしていく意欲をもつ。
2	○日中戦争が始まった経緯や戦争の状況について調べ、戦争が拡大していったことをとらえることができる。 ・日中戦争が始まった経緯や戦争の状況の変化について調べる。	日中戦争が始まり、拡大していった経緯をとらえる。
3	○太平洋戦争の開戦によって国民の暮らしがどう変わったのかを予想したり調べたりすることを通して、戦争を続けるために国民全体で協力しなければならなくなったことをとらえることができる。 ・戦力に差があるアメリカと戦争を始めたことで、国民の暮らしがどうなったのか考える。	太平洋戦争の開戦によって、国民の暮らしが戦争中心の苦しく、不自由な暮らしに変わっていったことをとらえる。
4 本 時	○戦時中の人々の暮らしについて、学校が国民学校に変わり、子どもの学校生活がどうなったのかを調べたり考えたりすることを通して、学校生活の全てが戦争中心になっていったことをとらえることができる。 ・戦争中の教科書や小学校の授業の様子の写真から、どんな勉強をしていたのか考える。	戦争が激しくなったことで、子どもの学校生活が戦争中心になっていったことをとらえる。
5	○太平洋戦争によって、日本が他国に大きな損害を与えたことを理解することができる。 ・日本が占領していった国の人々の暮らしがどう変わっていった	太平洋戦争の戦地が拡大し、日本が他国を占領していったことで、多くの損害を与えたことを理解して

	のか調べる。	いる。
6	○アメリカ軍の攻撃が日本の本土に及んだことで、人々の暮らしがどう変わっていったのかをとらえることができる。 ・空襲の被害者数や疎開を余儀なくされた子ども達の写真から、戦争の被害がどのように広がっていったか考える。	日本本土への空襲により、日本の国土に住む一般の国民にも被害が及んだことを理解している。
7	○沖縄戦や原子爆弾の投下により、多数の犠牲者が出たことで戦争が終結したことを理解し、戦争に対する考えを深める。 ・アジア・太平洋で広がった戦争はなぜ広がったのか、犠牲者が拡大する前に止めることができなかつたのか考える。	アジア・太平洋に広がった戦争によって、日本にも他国にも多くの犠牲者が出たことを理解し、戦争に対する自分なりの考えをもつ。

#### 4 本時の計画（4時間目／全7時間）

##### （1）本時のねらい

戦時中の人々の暮らしについて、学校が国民学校に変わり、子どもの学校生活がどうなったのかを調べたり考えたりすることを通して、学校生活の全てが戦争中心になっていったことをとらえることができる。

##### （2）本時の構想

子どもは前時までに、日中戦争や太平洋戦争が始まった経緯や人々の暮らしの変化について学習している。前時では、太平洋戦争が始まった経緯について学習し、なぜ資源や兵器の生産力で圧倒的な差があるアメリカと戦争を始めたのか、戦争が長引いたことで、人々の暮らしはどのように変わってきたのかなどについて考えた。

本時では、小学校が尋常小学校から国民学校に変わったことに着目し、戦争が長期化し、激しくなる中で、子どもの学校生活がどうなっていったのかについて調べたり考えたりする活動を展開する。日中戦争の長期化により、国家総動員法や国民徴用令が施行・実施され、人々の暮らしは戦争中心になっていった。戦争が優先の社会への変革は子どもの暮らしにも及ぶ。尋常小学校は国民学校へと変わり、教育全般にわたって皇国の道を修練させることを目指し、制度改革がなされた。戦争が優先される中で、学校の仕組みが変わったことを知った子どもは、学校生活はどのようになっていったのかについて疑問を抱くであろう。国民学校で、当時の子どもがどんな学校生活を送っていたのかについて調べることで、大人の暮らしだけでなく子どもの暮らし、学校生活までが戦争中心になっていった当時の状況を具体的にとらえさせたい。

予想と調べたことを比較したり、仲間と考えを交流したりしながら、戦時中の子どもの学校生活や暮らしの様子について考えようとする姿を目指し、以下の3つの手立てを講じる

##### ①当時の子どもの遊び道具や学校の名称の変化を示す資料を提示し、当時の学校生活に興味をもたせる

戦時中は、小学校でも戦争に関する教育が行われていたことは知っている子どもが多い。しかし、戦争が長期化する中で、尋常小学校が国民学校に変わり、教育制度そのものが戦争中心の内容に改革されたことを知っている子どもはほとんどいない。まず導入では、当時の雑誌の表紙やすぐろくの写真を提示し、戦時中の子どもの暮らしが戦争中心になっていったことに気付かせたい。次に、学校名の門札を「新潟国民学校」に付け替えている写真資料を提示し、学校が国民学校に変わった事実を示す。すると子どもは、「なぜ国民学校に変わったのか」「国民学校になって、子どもの学校生活はどのようになったのか」などの疑問をもつであろう。この疑問を基に、学習課題を設定したい。

##### ②国民学校に通う子どもはどんな学校生活を送っていたのか予想させる

学習課題設定後は、当時の子どもがどんな学校生活を送っていたと考えるか、予想を立てさせる。多くの子どもは、学校生活も戦争の影響を受け、戦争に関する教育が行われていたという予想を立てるであろう。自分たちの現在の学校生活の様子や前時までの学習を関連付けながら、戦時下の子どもの状況や学校生活の様子を予想する姿を期待する。予想を立てさせることで、戦時中の子どもの学校生活や暮らしについて、より自分事にして考えていくことができるようにしたい。個々で予想を立てた後は、全体で交流することで学級の予想としてまとめ、後で調べたことと比較することができるようにする。

##### ③子どもがどんな学校生活を送っていたかをまとめ、学校生活も戦争中心になっていったことをとらえさせる

予想を立て、全体で交流した後は、実際にはどんな学校生活を送っていたか班で協力して調べさせる。本時では、当時の教科書や体錬科の授業の様子、音楽で使っていたレコードなどのプリント資料を配付し、資料を基に勉強の様子を中心に調べさせる。調べたことはホワイトボードに記入させ、黒板に掲示することで、分かったことを全体で交流できるようにする。次に、各班で調べたことと自分たちが立てた予想がどの程度同じだったか、違っていたかを確認する。さらに追資料として、「当時の学校生活のきまり」「国民学校の学芸会の演目」「戦時中の鉛筆の広告」を資料として提示し、「勉強することも戦争につながっていた」「予想以上に戦争中心の学校生活だった」という思いをもたせたい。最後に、本時で分かったことをまとめると、どんなことが言

えるのかを考えさせ、子どものつぶやきをキーワードにして学習のまとめをする。

(3) 本時の展開

学習活動	教師の働きかけと予想される児童の反応	■評価・○留意点
<p>○戦時中の子どもの学校生活について疑問をもたせ、学習課題をつくる。 (9分)</p>	<p>T 1 前の時間にこんな言葉を勉強しましたね。このような言葉が出てきたのはなぜだったのでしょうか。 C 1 戦争が激しくなったから。 C 2 戦争が長引いて、人々の生活が苦しくなったから。 T 2 そうでしたね。戦争が激しくなり、子どもの暮らしも変わりました。みなさんの中にまんが本を読む人もいますね。当時の子ども向けの本の表紙は、このような感じでした。どんな言葉が書いてありますか。 C 3 大日本必ず勝つ、と書いてある。 C 4 米英撃滅なんて書いている。習字でも同じ字を書いている。戦争のことを書いてあるみたい。 T 3 次の写真は、戦争が激しくなった頃、子どもたちが遊んでいたすごろくの写真です。 C 5 戦闘機や戦車の絵が描いてある。 C 6 ここにも米英撃滅って書いてある。すごろくまで戦争っぽいものになったのか。 T 4 本とすごろくの資料から、どんなことが分かりますか。 C 7 子どもの生活も戦争中心になった。 T 5 そうですね。でも変わったのは、生活だけではありません。戦争が激しくなると、学校もこのように変わりました。 C 8 学校の名前が変わったのかな。 T 6 そうです。学校が、国民学校という名前に変わりました。心身を鍛え、国のためになることをする、よい国民になることを教える学校に変わりました。ここまでで疑問に思うことは何ですか。 C 9 国民学校に変わって、当時の小学生の学校生活はどうなったんだろう。 T 7 戦争が激しくなったころの子どもたちは、どんな学校生活を送っていたんだろうね。今日は、このことについて考えていきましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;学習課題&gt; 戦争が激しくなり、子どもの学校生活はどうなったのだろうか。</p> </div>	<p>○「ぜいたくは敵だ」の標語を提示する。  ○戦争が激しくなった頃の子どもの向け雑誌の表紙とすごろくの画像を提示し、子どもの日常生活が戦争中心になっていったことを意識させる。 ○日中戦争、太平洋戦争などの出来事の年表を掲示しておき、時系列で確認できるようにする。 ○本の表紙やすごろくを見ての感想を聞く。  ○校門にある校名の表示を変えている写真を提示する。 ○国民学校について説明したり、現代の学校の様子の写真を提示したりすることで、当時の学校生活に興味をもたせる。  ○「何が変わったのか」「どんな勉強をしていたのか」などの子どものつぶやきを拾い、キーワードを板書しながら学習課題をつくる。</p>
<p>○国民学校の子どものような学校生活を送っていたか、予想を立てる。 (10分)</p>	<p>T 8 まず、子どもの学校生活がどうなったか、予想を立ててみましょう。 C 10 戦争は正しいということを教えられた。 C 11 大人になったら戦争に行くように教えられた。 C 12 外に出て遊ぶことができなくなった。 C 13 がまんすることが増えたり、楽しいことがなくなったりした。 T 9 では、予想を発表してください。 C 14 戦争をするのが当たり前で、正しいことだということばかり教えられたと思う。 C 15 大人になったときに戦争に進んで行くように教えられたと思う。 C 16 爆弾などが落ちてくる危険があるから、外で遊んだり</p>	<p>○個々で予想を立てさせ、ノートに記述させる。 ○机間指導で子どもの考えを把握し、意図的な指名ができるようにする。 ○出された予想を授業、生活、行事などに分類し、板書する。</p>

	<p>することができなくなったと思う。</p> <p>C17 戦争で物が少なくなったと思うから、がまんすることが増えたり、楽しいことが減ったりしたと思う。</p>	
<p>○資料を調べて分かったことを班でまとめ、予想と比較する。</p> <p>(10分)</p>	<p>T10 では、実際には子どもの学校生活がどうなっていたのか、班で協力して調べてみましょう。今日はプリントの資料を使って、勉強のを中心に調べます。調べて分かったことはホワイトボードに書いていきましょう。</p> <p>C18 算数の計算が戦闘機の数になった。</p> <p>C19 工作で作るものが、紙の戦闘機になった。</p> <p>C20 音楽で爆撃機の音を聞かされていた。</p> <p>C21 体錬科では、戦い方を勉強していた。</p> <p>C22 国語の文も兵士のことが書かれていた。</p> <p>C23 修身では天皇を大事にすることが教えられた。</p> <p>C24 戦争に関係するような勉強ばかりになった。</p> <p>T11 書き終わったら、ホワイトボードを貼ってください。皆さんの予想は当たっていましたか。</p> <p>C25 戦争のことを勉強していたのは予想どおりだった。</p> <p>C26 ここまで徹底して戦争のことを勉強していたとは思わなかった。</p>	<p>○当時の教科書や授業の様子の写真をプリントした資料を配付する。</p> <p>○各班にホワイトボードとペンを配付する。</p> <p>○予想を振り返らせ、調べたことと比較させる。</p>
<p>○調べたことや追資料の読み取りから、どんなことが言えるか考え、まとめをする。</p> <p>(12分)</p>	<p>T12 今日は詳しくは調べなかった、学校の生活と行事の様子が分かる資料もあります。</p> <p>C27 行動の仕方まで決められていたんだね。</p> <p>C28 発表の内容も戦争に関係するものばかりだ。</p> <p>T13 最後にもう一つ皆さんに資料を見せます。当時の子ども向けの本の中に載っていたトンボ鉛筆の広告です。</p> <p>C29 鉛筆は武器だ、って書いてある。絵も武器の絵だ。</p> <p>C30 何もかもが戦争のことばかりだったんだね。</p> <p>T14 では、今日の勉強をまとめます。今日皆さんが分かったことをまとめると、キーワードは何ですか。</p> <p>C31 学校では戦争に関係することばかり教えられた。</p> <p>C32 学校生活も戦争中心になった。</p> <p>T15 では、皆さんの発表した「戦争に関係することばかり」「戦争中心」を使って、まとめます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;まとめ&gt; 戦争が激しくなると、学校では戦争に関係することばかり教えられ、学校生活は戦争中心になった。</p> </div>	<p>○追資料として、生活のきまりを示す「私の1日」、ある学校の「学芸会の演目」、週刊少国民という雑誌の広告「鉛筆は武器だ」を提示する。</p> <p>○班で調べたことをまとめると、どんなことが言えるかを発表させる。</p> <p>○子どものつぶやいたキーワードを板書し、その言葉をいかしてまとめをする。</p>
<p>○本時の学習の振り返りをする。</p> <p>(4分)</p>	<p>T16 今日の勉強を振り返ります。あなたは、当時の国民学校の子どもたちの学校生活についてどう思いますか。「私は、～と思います。理由は、～だからです。」という形を基本にして書きましょう。</p>	<p>■振り返りを基に評価する。「(4) 本時の評価」のとおり。</p>

#### (4) 本時の評価

B：国民学校の子どもの学校生活は戦争が優先で進められていたことに気付いている記述がある。

例) 私は、当時の小学生はかわいそうだと思います。理由は、算数の勉強で戦闘機の数の計算をしたり、学芸会の出し物まで戦争についてのものになったりしていて、戦争に関係する勉強ばかりだったからです。

#### 5 参考文献

- ・「朝日歴史写真ライブラリー 戦争と庶民①大政翼賛から日米開戦」佐藤靖（編），朝日新聞社
- ・「新潟市郷土資料館調査年報 20 集 祖父母が伝える太平洋戦争」，新潟市郷土資料館
- ・奈良県立図書情報館HP，<http://www.library.pref.nara.jp/event/booklist/daikanyama2008/hitosyo07.html>